

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆景気判断「緩やかに回復」 9月月例報告、個人消費は上方修正

・政府は9月の月例経済報告を公表。国内の景気判断は「米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している」とした。8月時点では米通商政策の影響について「一部にみられる」としていた。景気の判断は変えていないものの、影響を受ける産業を明示する表現に見直した。個人消費は13カ月ぶりに上方修正。

◆「日銀10月利上げ」観測、市場で急浮上 長期金利17年ぶり高水準

・国内債券市場で金利が大きく上昇している。日銀が10月に政策金利を0.5%から引き上げるのではとの観測が広がっているため。利上げを織り込む形で長期金利は約17年ぶりの高水準で推移している。本当に利上げは実施されるか。日銀からの情報発信や国内外の経済指標など、日銀の次の一手を占う材料が今後目白押し。

◆「東京一極」人口1400万人に膨張 高齢化・住宅・治安…過密の限界迫る

・東京都の人口増加が続いている。8月の推計人口は1426万人で、転入が転出を上回る社会増で過去最多を更新し続けてきた。全国的には人口減少が続くなか、東京にヒト・モノ・カネが集まる現状は「一極集中」とも批判される。外国人や高齢者の増加に伴う課題も顕在化しつつあり、人口増を追求してきた都の政策は転換点を迎える。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆8月の国内建設受注額39%増 オフィスビル開発がけん引

・日本建設業連合会が発表した2025年8月の国内建設受注額は、前年同月比39%増の1兆4254億円だった。単月でのプラスは2カ月ぶりで、8月としては過去20年で最高だった。都心部を中心としたオフィスビル開発がけん引した。民間からの受注は67%増の1兆2149億円で、そのうち非製造業は77%増の1兆279億円だった。

◆9月の建設資材需給は「横ばい」 鋼材価格に一部下落の動き

・国土交通省が発表した「主要建設資材需給・価格動向調査結果」によると、価格動向はすべての資材で「横ばい」。需給動向はすべての資材で「均衡」、在庫状況はすべての資材で「普通」となり、いずれも前月から大きな変動はなかった。価格動向では「異形棒鋼」と「H形鋼」で「やや下落」との報告が合計3件あったが、その他は「横ばい」に。

◆8月建設労働需給調査「鉄筋工(建築)」の過剰率高まる

・国土交通省が公表した2025年8月分の「建設労働需給調査結果」によると、8職種の不足率は0.9%の不足となり、7月と比べて0.7ポイント不足幅が縮小した。電工・配管工を除いた6職種は0.9%の不足で、前月より0.7ポイント不足幅が縮小している。職種別では、「鉄筋工(建築)」(△9.0%)が過剰となったが、その他の職種では不足となった。

《 注目商品 》

■トクラス、新時代の水まわり「Noare(ノーレ)」

・浮遊感のあるデザインのフロートタイプや、椅子に座りゆったりとした時間を過ごせる片側オープンプランなど。「マルチユースベッセル」ボウルを採用。小物の仮置き・飾り棚に使えるデザインシェルフや扉と同色に揃えることもでき、まとまり感のあるスタイルを実現。



■パナソニック、極細フレームの「内窓」に窓種・色を拡充

・スリムな枠が特徴のリフォーム用内窓の窓種を拡充して発売。引違い窓2枚建のみだったが、引違い窓4枚建、開き窓、FIX窓、浴室用などの窓種を追加し住宅のほとんどの窓に内窓が取り付けられる。テラスドアや勝手ロドアにも対応。



■LIXIL、「TWコンセプト」パノラマドアを発売

・こだわりの暮らしをかなえる窓高性能窓「TW」シリーズから、大開口、高意匠でありながら、高い気密性と断熱性を兼ね備える、テラスドアとFIX窓がセットになったパノラマドア新商品。

